

令和6年度原子力防災訓練等の検証結果（概要）

原子力防災訓練（10/16、17実施）の主な検証結果（課題）は次のとおり。

検証結果（課題）	
1	<p>複合災害を想定した多様な手段による住民避難訓練に継続して取り組むことが必要</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・昨今の地震等を踏まえ、複合災害への確実な対処が必要となるため、今後も様々な手段を取り入れ、原子力防災対策の更なる向上を図ることが望まれる。（評価者）・訓練機会を活用してヘリポートや港湾等の使用実績を積み上げることで、地域防災力の向上に繋げたい。（住民・要員）
2	<p>国、オフサイトセンター及び県・市町災害対策本部の体制構築、各拠点間の連携体制の確認が必要</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・国（緊急時対応センター）と県災害対策本部の調整や情報共有をより円滑に実施できるような体制を検討・確認することが必要。（評価者）・施設敷地緊急事態進展後のオフサイトセンター要員が参集する場面を想定した、各機能班の体制構築手順についても検証・確認することが必要。（評価者）
3	<p>放射線防護対策施設の運用体制の強化が必要</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・稼働手順の一部を町本部へ確認する場面も見られたことから、施設に備え付けの稼働マニュアルを、より分かりやすい内容に改善することが望ましい。（評価者）・設備の稼働マニュアルや、操作盤に貼り付けられた起動順を示すシールの文字サイズを大きく見やすいものにしてほしい。（住民）
4	<p>県モニタリング本部と県災害対策本部間における速やかな情報共有が必要</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・国の緊急時モニタリングセンター設置前における、県モニタリング本部と県災害対策本部間でのモニタリングデータ等の情報共有について、報告様式等を事前に策定しておくことが望ましい。（評価者）

※検証結果（課題）については、来年度の原子力防災訓練において関係機関と連携して対応することとしている。